

1992年 5月25日

&lt;毎月10日発行&gt;

第148号 4頁 200円

定期購読料（送料込み）

半年 1500円、1年 3000円

# 赤旗

共産主義者同盟中央機関紙

(1980年2月28日第3種郵便物認可)

三面…闘争報告

四面…新入生と語る

東京都下谷郵便局私書箱180号  
(関西) 大阪市港郵便局私書箱40号  
郵便振替 東京 9-352128

街頭大衆行動の爆發で

# PKO法案を葬り去れ



暴動で炎上するロス市 (4月29日)

## 革命的左翼を先頭に 全人民的国会包囲を実現せよ

PKO法案を巡り五月二十日もたれた社民両党の調整協議が決裂し、社会党は一転自公民再修案に強行対決する方針を打ち出した。我々は、この議会内小ブル平和主義者の左へのブレをも大胆に利用し闇っていかねばならない。

### 戦争準備を撃つ共同布陣を

本年度予算が成立してから一ヶ月余の間、国際平和協力特別委員会での型通りの手続き以外は、ほとんどの審議が行われなかつた。その間にP.K.O協力法の「再修正」をめぐる与野党間の「折衝」という名目のボス交渉室政治だった。周知のとおり、PKO協力法案とは「国連の平和維持活動へ、国際国家リ・大国日本として

の理念と対立しているからであり、このブルジョア基本法理念と、小ブルジョア的なものであれ国民のイデオロギーとして依然として支配的な「平和と民主

主義」に真向うから対立するものだからである。こうしたブルジョア民主主義の空洞化形骸化を支配階級が許容し、後押しするのはなぜか？  
それは、「経済領域における新世界のリーダー」(ブッシュ)となった日本帝国主義が、本軍リ・自衛隊の海外軍事作戦行為に、戦後初めて「合法性」を与えるというものである。この法案の成立が、国会審議によって果されようとしているのは、なによりも戦後日本憲法の理念と対立しているからであり、このブルジョア基本法理念と、小ブルジョア的なものであれ国民のイデオロギーとして依然として支配的な「平和と民主

## ロス暴動断固支持

### 米帝足下の下層大衆と共に

ロサンゼルスで四月二十九日午後、警察官による集団黒人暴行事件に対する無罪評決をきっかけに、「正義はどこにある」と黒人・ヒスパニック系・アジア系・白人の貧困層が街頭へくり出し、翌三十日には暴動が全米に広がった。我々は、この暴動を断固支持し、連帯して闘うものである。

暴動の原因を黒人労働者は次のように語った。  
「米国では、金持ち以外に正義は享受できない仕組みになっている。それを今回の評決は見えてくれた。……暴動は評決がだけなく、金持ちや権力に対する反感があると思う。こうした無力感を暴力でしか表せないのが現実だ。」

六〇年代の公民権運動と闘いの暴動的爆發の結果、人種差別

を禁ずる法体系は大きく改善された。しかしそれは、黒人をはじめとしたマイノリティの一派を、今回暴動鎮圧の指揮をとったパウエル統合参謀本部議長やブラッドリー・ロス市長に代表されるように、白人支配階級の社会がその構成員として受け入れる道を開いただけであり、大多数の黒人などのマイノリティの境遇は「何も変わっていない」のである。黒人の年間世帯収入は平均で白人の六割、失業率は二倍以上とされており、暴動の最も激しかったロス市サウスセントラル地区の失業率は四〇%なのである。

不意を突かれたブッシュ政権は、まず「全米に深いいら立ちの支配を転覆せばには「人種差別問題」においても「正義」を期待することはできない」と今回の暴動は、鮮明に自覚されていないにせよこの現実に対する批判だったのである。

不意を突かれたブッシュ政権は、まだ「全米に深いいら立ちの支配を転覆せばには「人種差別問題」においても「正義」を期待することはできない」と今回の暴動は、鮮明に自覚されていないにせよこの現実に対する批判だったのである。

世界政治の流れの中で見るならば暴動は、ファンズム・ナチズムにも、更には東側官僚ブルジョアジーの專制にも勝利して

「最良の統治形態」の地位を形成し、米帝を頭目とする帝国主義列強の世界支配の共通の武器となつたブルジョア民主主義的

支配に対し、その欺瞞性を暴露し、その没落に道を開く一撃となつたのである。我々は、これに応え、日帝の足下からの闘いの爆發を準備し、世界史的政治理想の流れを転換させていかねばならない。

審議にとどまらない「日米安保体制」の日帝の侵略反革命戦争遂行の可否を問う、翼賛政党と反戦反安保・反天皇など、総じて反派兵勢力との正面切った対決布陣のことしばらくの様相を決するものとなつたのだ。

われわれは、こうしたPKO法案を巡る攻防の意味をしっかりと確認しておかなければならぬ。それは、革命派にとってもはや、派兵推進の側に立つた

否を委ねることが派兵法案阻止

だけなく、手慣れたカンバニア政治やサーカル性を払拭しまた急進民主主義左派特有のセクト主義的な危機意識のアシリ

ー?

野党的国会動向にこの闘いの成

程を示す

だけなく、議会主導で開催されたカンバニア政治やサーカル性を払拭しまた急進民主主義左派特有のセクト主義的な危機意識のアシリ

ー?

野党的国会動向にこの闘いの成





